

第2回

コンテスト応募者は
中高生

FRES

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

実施報告書 2024

協賛 (シルバー)



RHEOS CAPITAL WORKS

代々木ゼミナール

夢は、18才から始まる。

ジンジブ

協賛 (ブロンズ)



Hotel Mikazuki
JAPANESE RESORTS & SPA



Ideaconsulting
税理士法人イデアコンサルティング

GOAL



たびふぁん

協力

後援



SEKISUI HOUSE



平和不動産



金融庁
Financial Services Agency



消費者庁



東京都



EXPO
2025

目次

目次	01
概要・募集要項	02
賞・副賞	03
意義・メリット	04
タイムライン	05
FESコンテストの受賞歴	06
応募件数・一次審査通過基準	07
「お金の8つの力」応募・受賞の割合	08
メディア掲載実績	09
ワークショップ開催報告・出前授業実施報告	13
香川県地区大会開催報告	19
千葉県地区大会開催報告	25
一次審査通過作品	30
全国大会開催報告	32
主催者よりご挨拶	62
運営協力者	63
大学生実行委員会	64
協賛・協力・後援	65
助成事業採択	66
編集後記	67
組織概要	69

概要・募集要項

名称	第2回FESコンテスト (2th Financial Education Support Contest for Student)
内容	「FESコンテスト」とは、中高生が小学生向けに金融教育動画を制作し、そのクオリティを競うコンテストです。優秀作品は消費者庁や当機構などによって教材として使用されます。
趣旨	FESコンテストの目的は、小学生から大学生までの幅広い年齢層の生徒・児童が「金融教育を自分ごととして考えられる」ようなきっかけを創ることです。当機構が制定したお金の8つの力「使う」「稼ぐ」「納める」「貯める」「備える」「贈る」「借りる」「増やす」の力を総合的に高め、社会で生き抜く力の獲得に資することを目指して、開催しています。自分よりも年下世代の子どもたちにとってわかりやすい教材を制作するためには、伝えたいことを、自分自身が深く学ぶ必要があります。その過程を経ることで理解がいつそう深まると同時に、相手の立場にたって考え発信する力が身につくことも期待しています。

募集テーマ	「Study部門」 お金に関する8つの力からテーマを一つ選択し、小学生向けの金融教育の要素を含む動画作品であること。 「Challenge部門」 各企業の提示するテーマから一つを選択してください。 ひふみ賞：「お金とは？」 ジョブドラフト賞：「働く＝稼ぐ！？ 働くなってなんだろう？」
応募期間	2024年6月15日～2024年9月15日
応募資格	全国の中学生・高校生（チームや学級での応募・学校単位の応募も可能）
応募方法	LINE公式アカウントまたはGoogleフォーム
作品条件	<ul style="list-style-type: none">募集テーマに沿った45秒～60秒の縦型動画であること。他のイベントやコンテストなどで未発表の作品で、他者の著作権を侵害しないオリジナル作品であること。アニメーション・実写など表現方法、文字・音声の有無は問いません。
応募条件	<ul style="list-style-type: none">販売する作品ではないため、人物が写った場合のモデルリリース（肖像権使用許諾同意書）等の提出は不要ですが、被写体への許諾は取ってください。商品のロゴ等を消す必要はありません。応募作品の件数に制限はありません。音楽を付ける場合には商用利用可能な音源をご利用ください。権利に関するトラブル等について当機構は責任を負いかねますので、ご了承ください。
著作権	映像化権および二次使用権など、入賞作に発生する著作権（著作権法第27条および第28条の権利を含む）は主催者に帰属します。

賞・副賞

Study部門	最優秀賞	5万円分の図書カード
	優秀賞	3万円分の図書カード
	大阪・関西万博賞	2万円分の図書カード
	三菱みらい育成財団賞	2万円分の図書カード
	審査員特別賞	1万円分の図書カード
	クリエイター賞	1万円分の図書カード
	奨励賞	5千円分の図書カード
	佳作 8つの力 各賞	記念品
Challenge部門	ひふみ賞	YouTube制作体験
	ジョブドラフト賞	1万円分の図書カード ジンジブが運営する公式SNSへの投稿
	FESキッズ賞	メダル、500円分の図書カード

意義・メリット

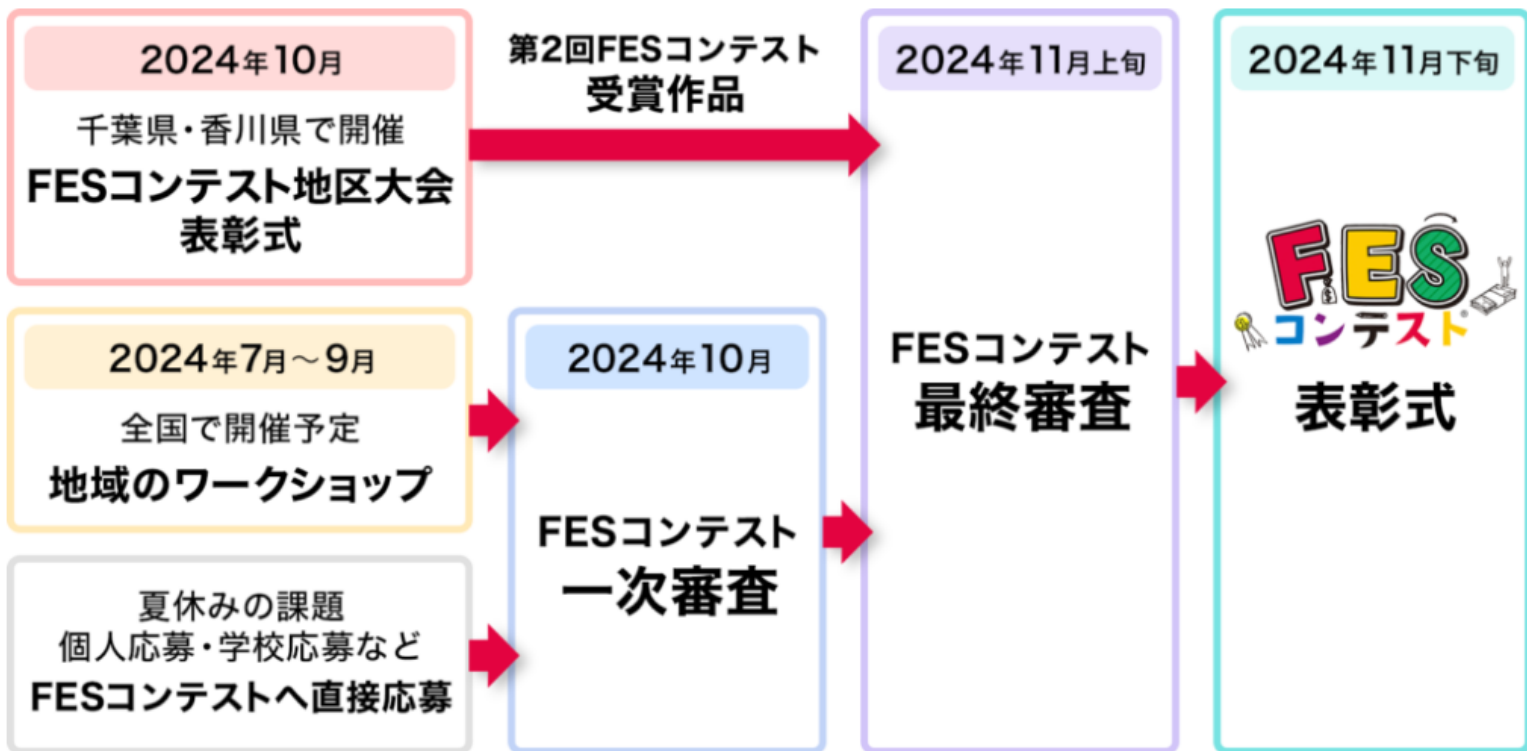
大学生	FESコンテストの運営はチームで大きなことを成し遂げる経験に繋がります。その経験は就職活動や円滑な社会生活を送るために役立ち、社会へ出る前に、金融教育を自分ごととして考える機会にもなります。
中高生	顔の見えない相手に対して情報を発信するという体験によって、発信力が身につきます。また、アイデアをまとめる過程で、お金について考える機会を得られます。動画制作も、学校では学ぶことのできない有益な体験となります。
小学生	年齢の近い中高生が制作した動画を身近に感じながら楽しむことで、お金に関する様々な力を学ぶことができます。

学修ステージ	関心のあるテーマを生徒自身が選び、動画を制作することによって、受け身の金融教育に比べてより実践的に学ぶことができ、生涯使える金融知識を習得できます。自分よりも年下の世代を対象とした動画を制作するために、伝える内容を考えることは、他者へ伝える力が身につくPBL（課題解決型学習）といえます。
制作ステージ	若年者の間で急速に広まっている動画コンテンツですが、学校教育の現場で動画制作を学べる機会は多くありません。生徒たちが自主的に動画を制作する場を設ける事で、学校現場では取り上げられることの少ない貴重な実習の機会を提供します。
活用ステージ	学校教育における金融教育は、必要性の認識が高まってはいるものの、明確な指標や尺度がない創成期にあります。そうしたなかで当機構は、金融教育を支援する団体として独自のプログラムを展開しています。FESコンテストの受賞作品も当機構の教材として使用されるほか、消費者庁が主催する勉強会などでも利用される予定です。FESコンテストは表彰されて終わりではない、実践的なイベントです。



タイムライン

4月16日	プレントリー開始
4月～6月	広報活動を展開
6月15日	エントリー開始
6月23日	レオス・キャピタルワーク様で「ひふみ賞」勉強会を実施
7月28日	地域ワークショップ開催
9月8日	
10月14日	香川県地区大会を開催
10月20日	千葉県地区大会を開催
10月23日	大学生による一次審査の結果を発表
11月5日	ファイナリスト、佳作、Challenge部門の審査結果を発表
11月23日	第2回FESコンテスト 全国大会・表彰式を開催



「FESコンテスト」の受賞歴

2023年度 一般財団法人三菱みらい育成財団の助成事業に採択

カテゴリ-2：教育事業者等が行うより先進的、特徴的、効果的な心のエンジンを駆動させるプログラム

採択事業名：FESコンテストによるワークショッププログラム

文部科学省共催「みらい育成アワード」カテゴリ-2 グランプリ受賞

FESコンテスト（一般社団法人日本金融教育支援機構）は一般財団法人三菱みらい育成財団の助成事業として、採択されました。

一般財団法人
三菱みらい育成財団

一般社団法人日本金融教育支援機構は財団の支援を受けながら、FESコンテスト、全国各地もしくはオンラインのワークショップを実施します。



活育財団主催“Next Education Award 2024”で最優秀賞を受賞

実践内容：FESコンテストで深める・伝える金融の学びの連鎖

活育財団はOECDオフィシャルパートナー。2024年7月6日 東大安田講堂にて開催された“Child and Adolescent Well-being Forum”では代表の平井が**金融教育によるWell-beingの向上**について講演しました。



東京都女性ベンチャー成長促進事業“APT Women”第9期生に選出

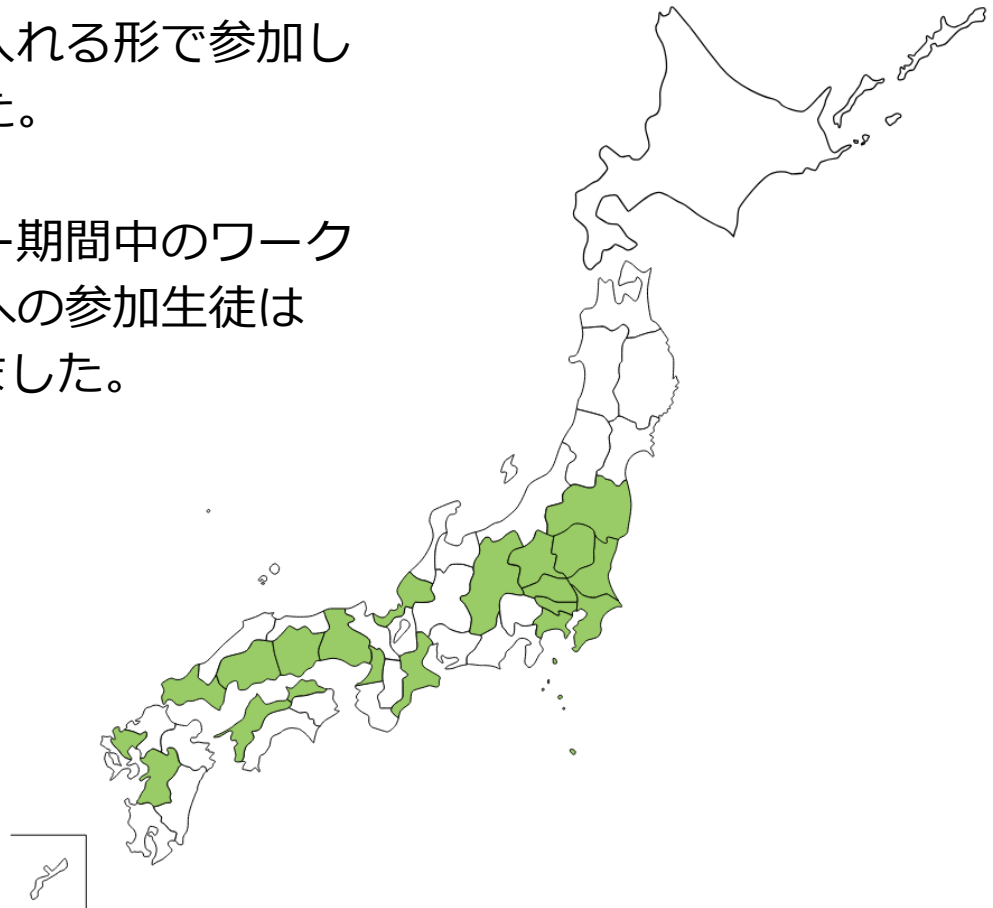
事業目標：金融教育を自分ごとに！「FESコンテスト」で深める・伝える金融の学びの連鎖



応募件数・一次審査通過基準

第2回FESコンテストでは1都19県から計94校、503作品のエントリーがあり、そのうち8校が夏休みの宿題に取り入れる形で参加してくださいました。

また、エントリー期間中のワークショップ・授業への参加生徒は2,300人を超えました。



第2回FESコンテスト 全国大会 一次審査について

動画の内容が以下の3つの基準を満たしているかを審査します。

F : Fun (楽しさ)

動画が視聴者に楽しさや興味をもたらすかどうかを評価します。

E : Educational (教育的価値)

動画がお金に関する有益な知識や情報を提供しているかどうかを評価します。

S : Shareable (シェア可能性)

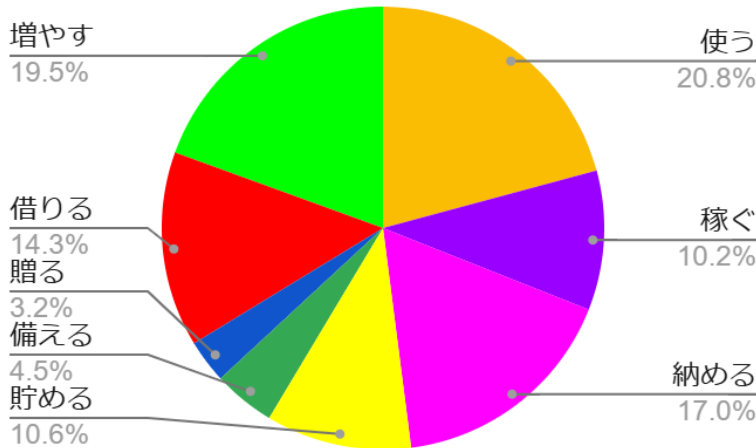
動画がSNSでシェアされやすく、他の人にも魅力的であるかどうかを評価します。

「お金の8つの力」 応募・受賞の割合

「お金の8つの力」をテーマとする「Study部門」
で選ばれた「力」別の集計結果

第2回FESコンテスト

応募数442



8つの力	応募数	受賞作
使う	92	5
稼ぐ	45	1
納める	75	2
貯める	47	0
備える	20	0
贈る	14	0
借りる	63	0
増やす	86	0

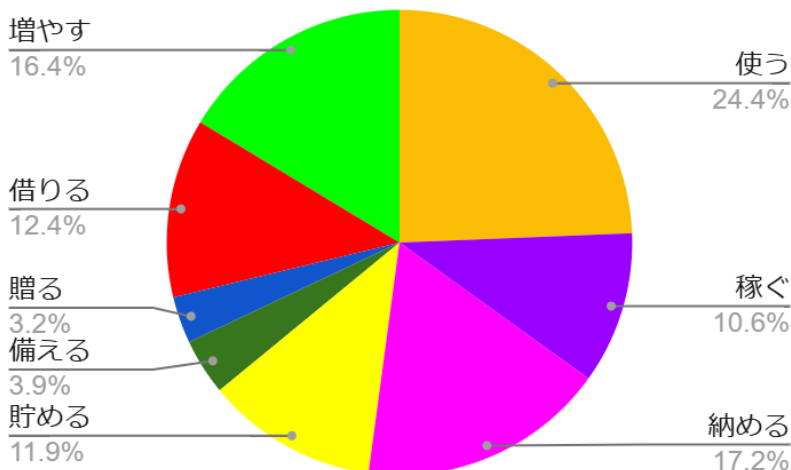


FESコンテストの応募作品は「使う」「増やす」「納める」が多い傾向にあります。

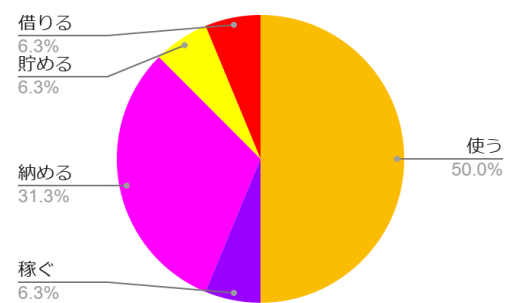
一方、受賞作品に目を転じてみると、第1～2回の計16点のうち半数が「使う」で、それに次ぐ「納める」が5点と、この2つでほとんどを占めています。

第1～2回FESコンテストの合計

応募数587



8つの力	応募数	受賞作
使う	143	8
稼ぐ	62	1
納める	101	5
貯める	70	1
備える	23	0
贈る	19	0
借りる	73	1
増やす	96	0
合計	587	16



第2回

コンテスト応募者は
中高生

FRES

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

メディア掲載実績



デジタル版でご覧の方は、「記事はこちらから」をクリック・タップすると、デジタル記事のページにリンクします。

メディア掲載

2024年8月9日 ニッキンONLINE

#FESコンテストへの道 in香川

百十四銀、金融教育イベントに協力 中高生がショート動画作り

2024.08.09 19:09 無料会員

イベント +フォローする 金融教育 +フォローする 保存する



スマートフォンを使ってショート動画の制作に取り組んだ（8月9日、高松市内）

百十四銀行は8月9日、高松市内で開かれた金融教育関連のショート動画制作するワークショップに協力した。日本金融教育支援機構（東京都）が主催しているイベントの一環。地域の未来を担う子供たちの金融リテラシー向上を後押しする。

記事はこちらから



2024年8月27日 経済レポート

#FESコンテストへの道 in広島



2024年8月25日 上毛新聞

#FESコンテストへの道 in群馬



メディア掲載

2024年8月25日 前橋新聞mebuku
#FESコンテストへの道 in群馬



study 学びたい

小学生が学ぶ「お金」の動画
中学生制作、教材に活用



2024年11月01日 きさこん
#FESコンテスト #千葉県地区大会

1分以内の縦型動画で中高生が金融教育動画を作成するコンテスト「第2回FESコンテスト」千葉県地区大会終了

2024/11/1 学生 きさこん編集部



あなたの作品がみんなの「お金を学びきっかけ」になる！

「第2回FESコンテスト」千葉県地区大会表彰式が、6名の受賞者を表彰して無事終了しました。

千葉県地区大会は、千葉県に在住または在学している中高生を対象としています。受賞者は、全国大会の一次審査通過者とともに全国大会の最終審査へと歩を進めます。最終審査の結果は11月5日に発表の予定です。

記事はこちらから



記事はこちらから



2024年10月25日 四国新聞
#FESコンテスト #香川県地区大会



記事はこちらから



2024年8月13日 Yahoo!ニュース
#FESコンテスト #クラウドファンディング

小学生に金融の仕組みを分かりやすく 金融教育動画コンテスト拡大にクラファン開始

8/12(月) 23:00 配信



日本金融教育支援機構（東京都中央区）はこのほど、小学生向けの金融教育動画コンテスト「FESコンテスト」の取り組みを拡大するための資金をインターネットで募るクラウドファンディングを始めた、と発表した。募集期間は9月30日まで。目標額は200万円。

小学生に金融の仕組みを分かりやすく 金融教育動画コンテスト拡大にクラファン開始

金融教育の充実を目的に昨年始めたこのコンテストは、中高生が小学生のために、1分間のショート動画で金融教育教材を制作する「小学生向け金融教育動画」の優劣を競う。難しい金融の仕組みを楽しく分かりやすく伝える点などが評価ポイントになるという。

コンテストを運営するのは日本金融教育支援機構の大学生運営委員メンバー。同メンバーはコンテストの取り組みを広げる一環で、全国で展開する「対面ワークショップ」の開催地域を拡大するため、今回クラウドファンディングに挑戦した。ワークショップは今年、全国9カ所で開催予定。来年は開催を新たに3カ所増やしたいという。

詳細はクラウドファンディングサイト「For Good (フォーグッド)」。

メディア掲載

2024年8月17日 J:COM

#FESコンテストへの道 in東京都武蔵野市



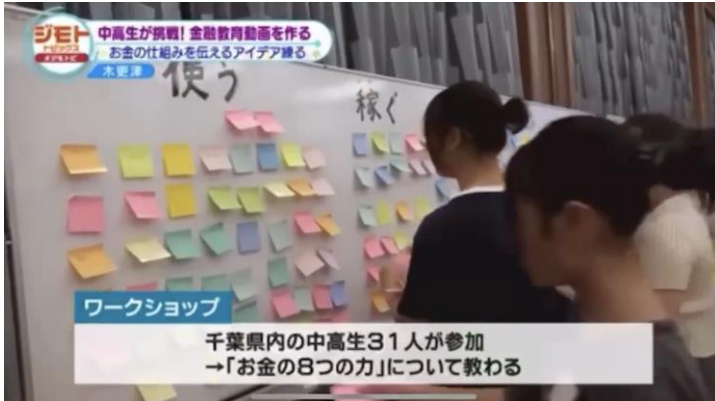
2024年9月14日 J:COM

#FESコンテストへの道 in群馬



2024年9月27日 J:COM

#FESコンテストへの道 in木更津



2024年10月21日
ケーブルメディア四国

#FESコンテスト #香川県地区大会



百十四銀行オリジナルムービー

#FESコンテスト #香川県地区大会



2024年12月14日 J:COM

#FESコンテスト #全国大会・表彰式



第2回

コンテスト応募者は
中高生

F E S

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

ワークショップ開催報告

・

出前授業実施報告

ワークショップ開催報告

兵庫県養父市ワークショップ（やぶチャレ）

2024年7月28日（日曜日） | 養父公民館1階 他産業就業研修室



「道の駅でヒットする商品を考えよう」というお題をもとに野菜などの地域の特産品を販売する方法を考えることを通して、地域課題の解決とも絡めながら、お金を「稼ぐ」力を身につけるといったものでした。

与えられたお題に取り組むにあたって

「世の中でヒットしている商品には何があるか？」

「なぜヒットしてるのか？」

「どんな人に対して売るのがいいか？」

など、「稼ぐ」方法を考える上でのヒントが用意されており、子どもたちは養父市で採れた野菜を実際に手に取りながらワークに取り組み、素敵な商品を完成させました。

報告者：大学生実行委員 西尾 茉莉杏

第2回FESコンテストへの道 in香川

2024年8月9日（金曜日） | セントラルビル 3階大会議室



学習の時間と動画制作の時間の2部構成で開催されました。

前半の学習の時間では協賛企業から銀行の仕組みや裏側を教わり、中高生の目は釘付けになっていました。お金を「預ける」ことや銀行の仕組みや役割を深く学ぶ良い機会となりました。

動画制作の時間では、今年度、全体としては応募が極めて少なかった保険に関する動画や、讃岐うどんを題材にした動画もあり、参加者それぞれの思いや個性が表れていました。一人ひとりの個性に心がときめく、楽しいワークショップとなりました。

報告者：大学生実行委員 藤本 壮太

ワークショップ開催報告

第2回FESコンテストへの道 in広島

2024年8月10日（土曜日） | イノベーション・ハブ・ひろしまCamps



認定講師と大学生が共に企画・運営を行い、柔軟性の高いものになりました。

中高生は認定講師による講義で金融の知識を身につけ、小学生にとって分かりやすい作品の制作に挑戦しました。

「たる募金」や「宮島訪問税」など広島ならではの題材を扱った作品も多く集まりました。

大学生実行委員会の私たちも、広島の中高生と話しながら、お金の意味や税金について考えるとともに、大学生同士の仲も深めることができ、その後の活動のエネルギー源となったワークショップでした。

報告者：大学生実行委員 藤田 美優

第2回FESコンテストへの道 in東京都武蔵野市

2024年8月17日（土曜日） | 武蔵野芸能劇場 2階 小ホール



中高生と積極的に関わることで、彼らが動画制作に夢中になれるような空間・時間創りに尽力しました。

一班にスタッフが1人必ず付くようにした結果、円滑にグループワークを進めることができました。参加してくれた中高生の中には「どのような流れにしようか」と一生懸命考える子や、「こんな動画を作りたい」と楽しそうに話してくれる子がいて、各々「お金の役割はたくさん知っているけれど、動画で小学生に何を伝えようか」と、一生懸命考えながら取り組んでいました。

報告者：大学生実行委員 郷右近 侑寿

ワークショップ開催報告

第2回FESコンテストへの道 in千葉県流山市

2024年8月18日（日曜日） | 流山市生涯学習センター（流山エルズ）



自分の強みや特徴を発見すると共にやりたい仕事はどんな風に「ありがとう」の交換をしているのかを調べて1枚の画用紙にまとめました。

参加してくれた小学生は、興味のある職業を迷うことなく選んでいて、最終的に選んだ職業について調べたことを自由に絵や言葉などでまとめていました。

また、親御さんが「このお仕事面白そうじゃない?」と、お子さんに声がけをしている場面を多く見かけ、親子で楽しみながらワークに取り組める空間となったワークショップでした。

報告者：大学生実行委員 栗原 茉莉

第2回FESコンテストへの道 in群馬

2024年8月25日（日曜日） | 臨江閣



初となる群馬県でのワークショップでは、前橋市の小川市長にもご臨席いただき、国指定の重要文化財、臨江閣を会場として盛大に開催いたしました。

認定講師によるお金の話・協力企業であるパソコン教室のスタッフさんによる映像制作の指導など隔々までフォローしながら進行できました。第1回FESコンテストで入賞した中高生も参加し、お互いにアドバイスし合いながら映像制作に取り組む様子が見られ、ワークショップ後半では、中高生が2時間ほどかけて作ってくれた5作品を上映しました。

申し込んでくれた中高生全員と当日顔を合わせることができ、大学生のアドリブ力と中高生の発想・積極性でやりがいのある1日となりました。

報告者：大学生実行委員 五十嵐 龍翔

ワークショップ開催報告

第2回FESコンテストへの道 in千葉県木更津市

2024年9月8日（日曜日） | 龍宮城スパホテル三日月



協賛企業より会場を提供していただき、プールバックで浮き輪をそばに「お金」について考える唯一無二の素敵な空間で実施されました。

小学生から高校生までが参加し、緊張感のある雰囲気での始まりでしたが次第にお金に関するO×クイズで「こっちじゃない？」などと気さくな会話が生まれ、緊張がほぐれていきました。

ショート動画の制作では、その場でチームが結成されるなど、楽しく会話しながら作業する様子が見られました。夏休みの一コマと金融教育が重なり、第2回FESコンテスト最後のワークショップとして相応しい、充実したワークショップとなりました。

報告者：大学生実行委員 中島 晶穂

オンラインワークショップ

2024年7月23日（火曜日）

2024年7月31日（水曜日）

2024年8月3日（土曜日）

2024年8月11日（日曜日）

2024年8月18日（日曜日）

2024年8月21日（水曜日）

2024年8月25日（日曜日）



株式会社ジンジブさまのプロジェクトの一つ、「ジョブドラフトFes」と協働し、第2回FESコンテストへのエントリーを最終目標としたオンラインワークショップを実施いたしました。

1 第1回の受賞作を見てみよう



2 学んでみよう

8つのお金の力とは何？



3 何をどう伝えたい？

構成を考えよう



4 さあ、動画を作ろう！



5 FESコンテストに応募しよう！



出前授業実施報告 (大学生サポーター講師登壇)



※掲載にあたって一部改変

当機構の認定講師や大学生のサポーター講師が複数の学校で出前授業を行いました。私が担当した学校では11人の講師がそれぞれ1クラスを受け持ち、お金にまつわる自分の失敗談と、そこから得た教訓について話しました。

それぞれの講師がクラスごとの特性を見極め、それに合わせた雰囲気作りや内容の選定を行いました。

「体験談を交えて」という話題提供の仕方は、単に知識を伝えるだけの形式とは異なり、高校生らが自分の人生に当てはめながら聴くことによって今後の人生について考え直すきっかけともなったようでした。高校3年生の2学期と、受験に向けて緊張感の高まる時期でしたが、休み時間には単語帳を開いて必死の表情で勉強していた高校生らも授業が始まると積極的に参加し、素直な姿勢に感動させられました。

私が受け持ったクラスではスマホ一台で手軽に参加できる早押しクイズの作成ツールを活用し、授業は大盛り上がりで幕を閉じました。

報告者：大学生実行委員 西尾 茉莉杏

累計受講者数3,730名、43校で出前授業を実施いたしました。
(2024年12月現在)

第2回

コンテスト応募者は
中高生

FRES

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

地区大会開催報告

(香川県地区大会)



デジタル版でご覧の方は、作品のアイキャッチ画像をクリック・タップすると、作品の動画にリンクします。

地区大会開催報告

香川県地区大会

2024年10月14日（月曜日） | 高松市美術館 講堂



香川県表彰式は、当機構として初めて実施した地区大会表彰式でした。

受賞者スピーチには作品に込められた想いが詰まっており、審査員をはじめとして、会場にいる全ての方々に響いたようでした。大きな舞台上で想いを語ることは、中高生にとって改めて自分の活動を振り返る良いきっかけとなったと思います。

さらに交流会を通して学生同士で作品の感想を共有したり、作品の背景を深掘りしあったりするなど探究の姿勢が見られました。表彰式は振り返りや表彰だけではなく、中高生にとってさらなる成長の場となったようです。

運営陣としても初めての試みで、臨機応変に対応することを求められました。来年度以降はより良い表彰式を実施し、香川県を軸に全国に地区大会の輪を広げていきます。

報告者：大学生実行委員 新田 一希

審査員（敬称略）



たかまつ讃岐てらす財団
代表理事
大美 光代



株式会社百十四銀行
執行役員経営企画部長
村松 貴幸



香川証券株式会社
経営企画部 副部長
安田 隆朗



株式会社IBL
地域ビジネス推進部 部長
三野 環



香川県
政策部地域活性推進課 主幹
篠原 理代子

地区大会開催報告

香川県地区大会

入賞作品

最優秀賞



小学生のぼくも税金を納めている！？
大手前丸亀中学・高等学校 中学3年
中下 心結（団体応募）

作品



優秀賞



くまさんの初めての「ゆうし」
大手前高松中学・高等学校 中学3年
吉嶋 一葉（個人応募）

作品



地区大会開催報告

香川県地区大会

入賞作品

百十四銀行賞



カブで賢くお金持ち

大手前高松中学・高等学校 中学3年

伊藤 和奏（個人応募）

作品



香川証券賞



NISAってなんだろう？

大手前高松中学・高等学校 中学2年

森本 陽仁（個人応募）

作品



香川県地区大会

入賞作品

審査員特別賞



キャッシュレス決済ってなーに？

英明高等学校 高校2年

中村 竜斗（個人応募）

作品



地域貢献賞



ふるさと納税シミュレーター

大手前丸亀中学・高等学校 中学3年

小倉 陽香里（団体応募）

作品



地区大会開催報告

香川県地区大会 入賞作品（佳作）



保険ってなんだろう??
高松第一高等学校 高校3年
岩田 夏奈（個人応募）
作品



ハンガリーの消費税は世界一高い!?
尽誠学園高等学校 高校2年
香川 緋羽（団体応募）
作品



“いらすとや”から学ぶ税
香川県立高松西高等学校 高校2年
森江 凌太（個人応募）
作品



第2回

コンテスト応募者は

中高生

イベント運営は

大学生

FRES

コンテスト[®]

表彰された動画は

小学生

の教材に

Financial Education Support Contest for Student

地区大会開催報告

(千葉県地区大会)



デジタル版でご覧の方は、作品のアイキャッチ画像をクリック・タップすると、作品の動画にリンクします。

地区大会開催報告

千葉県地区大会

2024年10月20日（日曜日） | 千葉市生涯学習センター



当機構2回目の地区大会表彰式として開催されました。

地域別の表彰式は金融教育の潮流を全国各地に広げるため、今年度から実施している取り組みとなっており、香川地区大会に続いて本大会がその先駆けとなりました。

司会として本大会の運営をサポートしながら、プレゼンテーションを間近で聞かせていただきましたが、緊張感がある中でも堂々とした受賞者の姿が印象深かったです。

私自身、機構のみなさんには初めて対面でお会いするので少し不安でしたが、個々の能力とチームワークが発揮された素敵な表彰式になりました。

報告者：大学生実行委員 筒井 璃紗子

審査員（敬称略）



千葉県
環境生活部 くらし安全推進課
消費者安全推進室 主幹兼室長
熊本 義久



千葉県教育庁
教育振興部 学習指導課
教育課程指導室 指導主事
村瀬 正



千葉県FP協会 千葉支部長
渡辺 一江

地区大会開催報告

千葉県地区大会

入賞作品

知事賞



「稼ぐ」のは大人だけじゃない!?
in フィリピン

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 高校2年
草場 美海（団体応募）

作品



教育長賞



リボ払いと分割払いの違い
日本体育大学柏高等学校 高校1年
大谷 亜美花（個人応募）

作品



千葉県地区大会

入賞作品

優秀賞



お金の貸し借りダメ！絶対！

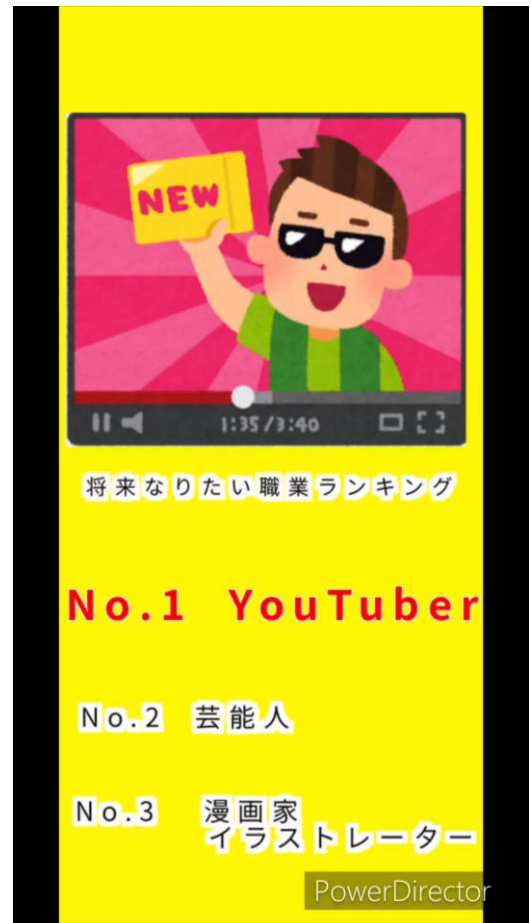
江戸川学園取手中・高等学校 中学2年

大倉 瑠莞（個人応募）

作品



佳作



YouTuber再生回数の仕組み

日本体育大学柏高等学校 高校1年

染谷 結衣（個人応募）

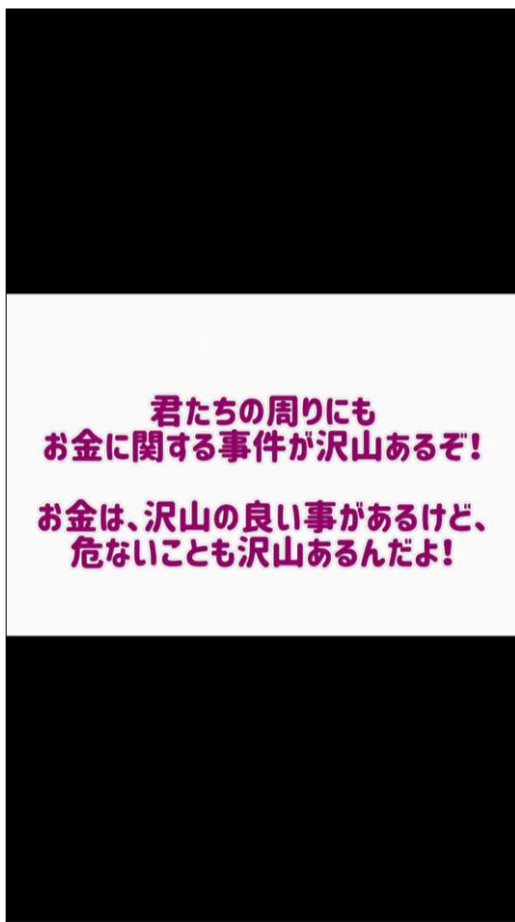
作品



千葉県地区大会

入賞作品

佳作



ゲームと課金とお金の関係。

木更津市立木更津第一中学校 中学2年

中村 天音 (団体応募)

作品



佳作



お金はだれのもの! ?

千葉県立木更津高等学校 高校2年

弘中 彩 (個人応募)

作品



第2回

コンテスト応募者は
中高生

F E S

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

一次審査通過作品

一次審査通過作品

Nintendo Switchを買いたい！	東京学芸大学附属世田谷中学校	中学1年	団体	青木 優
時をかせぐ林檎	佐賀学園高等学校	高校2年	個人	愛純 百葉
稼ぐの由来と意味って？簡単に分かる1分紹介	前橋市立第五中学校	中学3年	個人	天笠 裕雄
カブで賢くお金持ち	大手前高松中学・高等学校	中学3年	個人	伊藤 和奏
クレジットカードは魔法のカード？？	愛知県立豊橋南高等学校	高校3年	個人	伊東 愛結
お金を借りるとは？	名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	高校2年	個人	伊藤 心菜
保険ってなんだろう？？	高松第一高等学校	高校3年	個人	岩田 夏奈
たくさん働いたのに給料が減る！？	須磨学園高等学校・中学校	高校2年	個人	上村 花緒
電子マネーとは何だ？！	高崎市立高松中学校	中学3年	個人	江原 彩芭
もしも一人がこわいなら	文教大学附属中学校	中学2年	個人	遠藤 最
お金の貸し借りダメ！絶対！	江戸川学園取手中・高等学校	中学2年	個人	大倉 瑠莞
相続税に気を付けよう！	廿日市市立廿日市中学校	中学2年	個人	大下 颯史
リボ払いと分割払いの違い	日本体育大学柏高等学校	高校1年	個人	大谷 亜美花
学力は金と紙一重	福井県立鯖江高等学校	高校2年	団体	大友 勤之
【魔法のサービス！？】リボ払いで大損した社会人	前橋市立第六中学校	中学2年	個人	沖野 佑真
あり子となし子の保険講座	グローアップアカデミー	高校3年	団体	甲斐 愛蘭
現金以外のお金の種類・使い方・贈り方	聖光学院高等学校	高校1年	個人	金井 颯来
新紙幣の秘密	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	高校1年	個人	加納 莉穂
ふるさと納税シュミレーター	大手前丸亀中学・高等学校	中学3年	団体	北 あいる
「稼ぐ」のは大人だけじゃない！？inフィリピン	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校	高校2・1年	団体	草場 美海
ウサギくんとカエルくんの旅行騒動	群馬県立中央中等教育学校	高校2年	個人	小松 美羽
リッチン贈与税に泣く	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	高校2年	団体	佐藤 智一
コンビニが近くに沢山ある理由	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	高校2年	団体	佐藤 智一
ハンガリーの消費税は世界一高い！？	尽誠学園高等学校	高校2年	団体	杉原 遥妃
地震保険の大切さ	高崎市立並榎中学校	中学3年	個人	瀬尾 桃
YouTuber再生回数の仕組み	日本体育大学柏高等学校	高校1年	個人	染谷 結衣
モノの値段が変化する！"買うお店を意識"	埼玉県立越谷総合技術高等学校	高校2年	個人	高橋 大希
お金を貯めるために	熊本高等専門学校八代キャンパス	高校3年	個人	瀧本 沙羅
課金のし過ぎは気を付けよう	東京都立南多摩中等教育学校	中学3年	団体	田口 悠真
危険なお金の貯め方	大阪府立長野高等学校	高校2年	個人	竹田 陽響
みんなでお買い物マスターになろう	兵庫県立夢野台高等学校	高校2年	個人	土肥 ゆずか
小学生のぼくも税金を納めている！？	大手前丸亀中学・高等学校	中学3年	団体	中下 心結
ゲームと課金とお金の関係。	木更津市立木更津第一中学校	中学2・1年	団体	中村 天音
キャッシュレス決済ってなーに？	英明高等学校	高校2年	個人	中村 竜斗
お金が足りない？！	共立女子中学高等学校	高校2年	個人	西澤 玲奈
お金はだれのもの！？	千葉県立木更津高等学校	高校2年	個人	弘中彩
「消費税」と「税金」ってなあに？	明和県央高等学校	高校2年	個人	藤井音羽
未来のために	成城学園中学校高等学校	中学3・2年	団体	本間孝男
税金って何？	名古屋経済大学市邨中学校・高等学校	高校2年	団体	水野由萌
いらすとや'から学ぶ税	香川県立高松西高等学校	高校2年	個人	森江凌太
NISAってなんだろう？	大手前高松中学・高等学校	中学2年	個人	森本陽仁
 スマホってお財布？ 	香川県立高松商業高等学校	高校2・1年	団体	安田有沙
渋谷栄一の余暇	初芝立命館中学校・高等学校	高校3年	個人	藪田楓佳
キャッシュレス決済について学ぼう！	香蘭女学校中等科・高等科	高校2年	個人	吉田光
世の中のためにお金を使う！？	開智中学・高等学校	中学3年	団体	吉川 咲希
くまさんの初めての「ゆうし」	大手前高松中学・高等学校	中学3年	個人	吉嶋一葉

第2回

コンテスト応募者は
中高生

FRES

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

全国大会開催報告

審査員（敬称略） ・ 最終審査



田内 学 TAUCHI Manabu

社会的金融教育家／お金の向こう研究所 代表

東京大学在学中に、国際大学対抗プログラミングコンテストアジア大会入賞。同大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了。ゴールドマン・サックス証券入社。以後16年間、日本国債、円金利デリバティブ、長期為替などのトレーディングに従事。日本銀行による金利指標改革にも携わる。単著に『きみのお金は誰のため』『お金のむこうに人がいる』。共著では、文部科学省検定の高校社会科教科書（公共）。『ドラゴン桜2』など監修協力も多数。



亀坂 安紀子 KAMESAKA Akiko

青山学院大学 経営学部 教授

慶應義塾大学在学中に公認会計士第2次試験に合格し、会計士補として大手監査法人にて勤務。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。2002年、日本の投資家行動に関する研究に関して国際学会にてAward受賞。内閣府の研究所の客員主任研究官としてウェルビーイングの研究にも従事。



松津 亮佑 MATSUZU Ryosuke

株式会社マクアケ 執行役員 兼 財務経理部部長

大学卒業後、公認会計士試験に合格。東証一部上場企業の証券会社に入社し、財務経理部にて、連結決算開示、組織再編対応などに従事。2014年 PwC税理士法人金融部に入所。税務申告業務、デューデリジェンス、アドバイザリー業務を提供。2017年、株式会社マクアケに入社。少数精鋭での決算開示体制を構築し、2019年12月に東証マザーズ上場。国内で最速での決算報告や監査対応を行い、投資、M&A、資金調達、管理会計などの業務に従事。



岡 美智子 OKA Michiko

株式会社A&I 代表取締役

大学卒業後スターバックスコーヒージャパン、P&G、アストラゼネカ、医療機器メーカー等の外資系企業で店舗運営、人材育成、経営企画、マーケティングに携わる。2020年2月株式会社A&Iを創業。「エンジェル投資家の存在が当たり前の社会に」を掲げ、起業家やベンチャーの志を投資家につなぐコミュニティを運営。NEW CONFERENCE（東京都女性起業家支援事業）公開セミナー登壇、メンターとしても従事。

審査員・最終審査



仲岡 由麗江 NAKAOKA Yurie

レオス・キャピタルワークス株式会社
営業推進本部 副本部長兼レオス営業部長

メガバンク、運用会社、ネット証券での投資信託の販売、商品企画、マーケティング、iDeCoの運営管理に従事した後、レオス・キャピタルワークス株式会社に入社。上場プロジェクトに参画し、2023年4月上場。広報・IR活動に従事するとともに、「ひふみ金融経済教育ラボ」のメンバーとして幅広い世代へ「お金の本質」を伝える金融経済教育にも注力する。その他、学校現場でも数多くの登壇実績を持つ。



高宮 敏郎 TAKAMIYA Toshiro

SAPIX YOZEMI GROUP 共同代表

慶應義塾大学経済学部を卒業後、三菱信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）を経て、2000年に(学)高宮学園代々木ゼミナールに入職、2009年より現職。代々木ゼミナール副理事長、(株)日本入試センター代表取締役副社長も兼務。「教育はサイエンスであり、アートである」をモットーに、次世代を担う子どもたちの教育を支える活動を行っている。



星野 圭美 HOSHINO Tamami

株式会社ジンジブ 取締役

新卒で採用支援会社に入社し、企業の新卒採用戦略立案から実施までをサポート。その後2014年2月に株式会社ジンジブへ入社し人材紹介事業（中途）、高卒採用支援事業の立ち上げに従事。現在、取締役としてキャリア教育開発部、カスタマーサポート部の管掌と、高卒第二新卒の転職・リスキリングを支援する「ジョブドラフトNext」立ち上げに従事。

第2回FESコンテスト 全国大会 最終審査について

以下の観点から最終審査を行いました。

Impact（インパクト）

動画を見た後に行動を起こすきっかけを与えるような内容であるか、見た人の考え方や意識を変えるような力があるかを見て、作品が、見ている人に与える影響の深さや大きさを評価します。

Creativity（創造性）

視覚的な表現方法や演出など、創造的な表現や独自の視点などを見て、作品のオリジナリティや独自性を評価します。

Execution（実行力）

映像のクオリティ、編集の流れ、音声の明瞭さなどを見て、作品の制作技術を評価します。

全国大会・表彰式・懇親会

開催日程	2024年11月23日（土曜日 勤労感謝の日） 表彰式：13:00～15:30（開場：12:30） 交流会：15:30～17:30 クロージング交流会：17:30～18:30
開催場所	KABUTO ONE 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町7-1 表彰式：4階 ホールB 交流会：3階 Book Lounge Kable 会場がある東京都中央区兜町・茅場町は、証券会社が多く集まることから、「証券の町」として知られています。
参加者	受賞者・引率の先生・保護者・審査員・協賛企業の方々



全国大会・表彰式・懇親会



2024年11月23日（土曜日、勤労感謝の日）に全国表彰式が行われました。11月23日は「勤労感謝の日」であり、お金の8つの力のうち、働くこと「稼ぐ」に繋がる日でもあります。

今年度は1都19県から計94校、503作品の応募があり昨年の3倍を超える規模となりました。

表彰式では、最終審査を通過した10作品を制作した中高生らがプレゼンテーションを行いました。

このプレゼンテーションと質疑応答を評価対象に加え、Study部門賞として最優秀賞、優秀賞、大阪・関西万博賞、三菱みらい育成財団賞、審査員特別賞、クリエイター賞、奨励賞の8つの賞と、Challenge部門賞としてひふみ賞（レオス・キャピタルワークス株式会社様ご提供）とジョブドラフト賞（株式会社ジンジブ様ご提供）の計10個の賞が選出されました。

ファイナリストに残った10作品以外もどれも素晴らしい作品ばかりでした。

金融に関して探究的に学ぶことができたこの経験は、将来必ず役に立ち、自分の自信になるものだと思います。

表彰式の後には同会場のフロアを変えて、受賞者・引率の先生・保護者・審査員・協賛企業による交流会が行われました。

受賞者の中高生、実行委員の大学生にとって、学校外で学べるキャリア教育の一環としての体験活動、またネットワーク形成の一助となる活動になったと思います。

FESコンテストは、中高生が金融教育を「自分ごと」として考え、小学生に伝える力を育む機会だけでなく、参加者同士が学び合い成長する貴重な場となりました。

今年度の活動を糧にこれからのFESコンテストがより良いものになるよう来年も尽力してまいります。

改めて、参加していただきました中高生の皆さん、そして、ご支援・ご協力いただきました、関係者の皆様、ありがとうございました。

報告者：大学生実行委員 小串 香乃



全国大会・表彰式・懇親会

アーカイブ配信のご案内

表彰式の様子や、表彰式・交流会中に上映したオープニングムービー・エンディングムービーをYouTubeに公開しております。デジタル版でご覧の方は、アイキャッチをクリック・タップするとご覧いただけます。ぜひご覧ください。



オープニング・機構代表挨拶



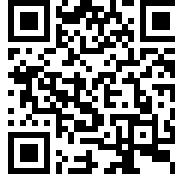
表彰



オープニングムービー



エンディングムービー



第2回

コンテスト応募者は
中高生

FRES

イベント運営は
大学生

コンテスト[®]

表彰された動画は
小学生
の教材に

Financial Education Support Contest for Student

全国大会 ファイナリスト受賞作品



デジタル版でご覧の方は、作品のアイキャッチ画像をクリック・タップすると、作品の動画にリンクします。

全国大会ファイナリスト受賞作品



「小学生のぼくも税金を納めている!?!」 中下 心結さん

大手前丸亀中学・高等学校 中学3年 団体応募



【審査員からのコメント】

本作品は、すべての人が普段の生活で支払う消費税を起点に、税金が私たちの生活に果たす重要な役割を小学生にもわかりやすく説明しています。税金についての教育的メッセージを楽しく伝えている点が高く評価されての受賞となりました。

審査員から最高得点を獲得し、協議の上選ばれた作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



最優秀賞

大手前丸亀中学・高等学校 中学3年

中下心結（団体応募）

内田伊織
田中俐帆

学校で日本金融教育支援機構の出前授業を受けたことをきっかけとしてFESコンテストに応募しました。ちょうど公民の授業で税金のことを学んだ直後でもあり、お金に関する8つの力のうち、「納める」をテーマにしたいとすぐに思いました。

「納める」の中からどこに焦点を当てようかと少し迷いましたが、自分が小学生だったときのことを思い浮かべながら、一番身近な消費税にターゲットを絞りました。動画作成は初めての経験だったため、戸惑いやつまづきも多くあり、すごく時間がかかりました。

内容の「税金」については、最初は私自身も「支払うだけ」のマイナスイメージが強かったのですが、色々と調べ、考えていくにつれ、税金があることの良い点、税金を支払うことの大切さを実感するようになりました。また、税金のおかげで、無料で使っているものが身の回りにたくさんあるにも関わらず、「無料が当たり前」と思っていた自分に気づき、「当たり前」と思った瞬間に感謝の気持ちは薄らいでしまうんだとも思いました。自分の気づきも込めて、小学生に伝えたいと思い、作成しました。

今回出場させていただいた香川県大会と全国大会では、動画についてのプレゼンがありました。普段、人前で話すことが苦手な私は、香川県大会で他の方たちのプレゼンに聞き入りながら、自分はまだまだだな、と刺激を受けました。そこで全国大会に出場が決まったあとは、香川県大会でのプレゼンの内容を見直し、また2分以内になるように何度も修正し、練習をしました。

全国大会表彰式の当日は、新幹線が大幅に遅れるというアクシデントがあったにもかかわらず、いつもの練習通りに発表できたと思います。最優秀賞をいただけたこと、県大会よりプレゼンが上達していたとお褒めの言葉をいただけたこと、これらが苦手なことも頑張ってきた全てに満足することができ、貴重な経験になりました。

全国大会のあとの交流会では、お会いしたかった『きみのお金は誰のため』の著者としても有名な、社会的金融教育家の田内学さん（審査員）ともお話することができ、嬉しかったです。更に偶然にも2週間後に私の住む市で田内さんの講演が聞けることを教えていただき、それにも参加できました。思わぬつながりから私自身の視野を広げてくださったFESコンテストに大変感謝しています。

今回の経験をこれからもつなげ、金融のまだまだ私の知らない分野も勉強してみたいと思っています。そして、来年度も別の「お金の力」をテーマとして挑戦できたらいいなと思います。ありがとうございました。

大学生が中下さんにインタビュー

第2回



担当メンター：中島 晶穂

Q.コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

税金があることの重要性、支払うことの大切さを『10歳から知っておきたいお金の心得』『10才から知っておきたい新しいお金のはなし』の本を参考にして学びました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 税金の勉強をするまでは、「税金」といえば「支払うもの」というマイナスイメージの方が強かったです。

でも、税金がなければ、救急車や公園が有料になったり道路が整備されていなかったりと生活が不便になってしまいます。税金のおかげで無料で使っているのに「当たり前」として無意識になってしまっていることに着目することで、そのありがたさに気づき、「税金を払って笑顔あふれる社会にしよう」という気持ちになると思いました。

それに気付けるように、小学生にも身近な消費税を取り上げ、税金のない世界から税金のある世界を見て、税金があるからこそその良い点、税金を払うことの大切さなどを伝えたいと思いました。

Q.テーマ設定の背景を教えてください。

A.夏休みに「税の作文」を書いたことがきっかけです。当然だと思っていることも、「当たり前じゃない」ってことを伝えたいと思いました。

Q.いい税金の使い道はどんなものだと思いますか？

A. 子どもの未来に役立つもの、医療など、多くの人が安心できることに使ってほしいと思います。

Q.今回の経験を今後どのように活かしていきたいですか？

A.チャレンジの楽しさに気がつくことができたので、新しいチャレンジをしていこうという姿勢や気持ちを大事にしたいと思います。

全国大会ファイナリスト受賞作品

優秀
賞

「『稼ぐ』のは大人だけじゃない!? in フィリピン」

草場 美海さん

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 高校2年 団体応募



【審査員からのコメント】

留学先で出会った全国各地の高校生5人が、実際に目にした児童労働を映像で伝え、その現実味と説得力が目を引きました。5人の行動力や想いが込められた、大人にも見ていただきたい作品です。

最優秀賞に次いで優秀で、
大きな影響力を与える作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



受賞のことば

優秀賞

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 高校2年

草場 美海（団体応募）

開智望中等教育学校 高校1年

広島県立広島叡智学園高等学校 高校1年

静岡県立藤枝東高等学校 高校2年

昭和学院秀英高等学校 高校2年

関根 翠姫

戸川 舞桜

長谷川 葵

古澤 梨子

私達チームWAKE²は児童労働をテーマに動画を制作し、千葉県大会では県知事賞、全国大会ではStudy部門で優秀賞、Challenge部門でひふみ賞を受賞させていただきました。

まずこのコンテストに応募した理由についてお話しします。私達5人は政府の留学支援プログラム「トビタテ留学JAPAN」に採用され、今年の夏、フィリピンのスタディツアーに参加しました。現地で初めて出会い意気投合した私達は、学生団体WAKE²を立ち上げ、より多くの人にフィリピンの現状を知ってもらおうと活動を始めました。そんな中でFESコンテストを見つけ、小学生という若い世代に発信できる点などを魅力に思い、応募を決めました。

次に動画制作を通して学んだこと・意識したことについてです。動画の中にはあまり反映できませんでしたが、制作にあたってフィリピンの児童労働の現状や政府の対策などについてのリサーチを行いました。また他人事になりがちな児童労働をいかにリアルに伝えるかという点については、5人で話し合いを重ね、実際の写真を使い具体的な説明をするなど工夫しました。1分という短い時間の中にどのようなメッセージを込めるかというのは難しい課題でしたが、留学中毎日のように5人で集まって相談し、動画を完成させました。

表彰式においてはプレゼンテーションの機会を与えていただき、今一度自分たちの動画を振り返ることができました。また他の受賞者の方の動画も拝見し、様々な側面から金融について学ぶことができました。全国大会の交流会では審査員の方々や大学生スタッフの皆様ともお話をさせていただき、非常に刺激的で貴重な時間となりました。

FESコンテストへの応募を通し、動画制作に限らず様々な場面で多くの学びや経験を得ることができました。コンテストの開催に携わってくださったすべての方には、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もFESコンテストが続いていくことを願っております。

大学生が草場さんにインタビュー

担当メンター：甲斐原 紗弓



Q. コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

インターネットで、児童労働についてや発展途上国の金融支援について調べました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 私達が動画を通して伝えたいのは、世界には生きるためにお金を稼ぐ子どもたちがいること、そして自分が将来働くときが来たら、稼ぐことの意義を改めて考えてほしいということです。また、私達が応募を決めたのは、留学で知った現実を日本の子ども達に伝えたいと思ったからです。小学生にとってこの動画が、世界に目を向け「稼ぐ」ことについて考えるきっかけになることを願っています。

Q. FESコンテストをどこで知りましたか。

A. インターネットで見つけました。

自分たちが衝撃を受けたフィリピンの現状を伝えられることと、コンセプトも小学生にわかりやすく伝えるという点でより幅広い層に伝えられると思いました。

Q. このコンテストに参加して良かった理由を教えてください。

A. 受賞をきっかけに私たちの動画をたくさんの人に見ていただけることが嬉しいです。千葉県大会でほかの受賞者の方の動画も拝見して、投資等に興味を持てたことも良かったと思います。

Q. 未来のFESコンテスト参加者に一言お願いします。

A. FESコンテストに参加することで自分が伝えたいことを伝えるための様々な力を養えます。金融を身近に考える機会はありませんので良い機会になります。私も大学生になったらFESコンテスト実行委員会に参加してみたいと考えています。

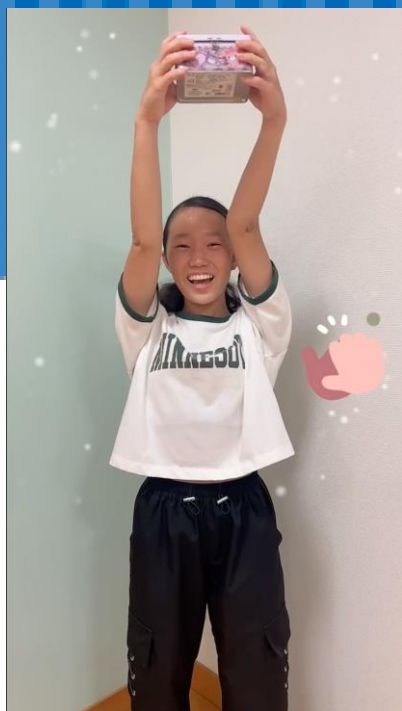
全国大会ファイナリスト受賞作品



「世の中のためにお金を使う!?!」

吉川 咲希さん

開智中学・高等学校 中学3年 団体応募



【審査員からのコメント】

本作品は、欧米と比較して日本には寄付文化が根付いていないといわれるなか、募金により良い社会づくりに貢献することを伝えています。募金が他者への支援となると伝えると同時に、募金詐欺について注意喚起している点も評価されました。

2025年大阪・関西万博が目指すSDGsの達成に最も貢献すると認められた作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



大学生が吉川さんにインタビュー

第2回



担当メンター：西尾 茉莉杏

Q. コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

A. 私は今までお金と聞いたら、貯めて欲しい物を買ったり友だち遊んだりすることしか知りませんでした。しかし、中学3年の授業で公民を学ぶようになって、そこで先生から「お金で、夢を抱いている人にクラウドファンディングしたり、会社に投資して誰かを応援することができる」と聞き、お金で人と繋がれるのは素晴らしいなと思いました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 夢を抱いて叶えたいと思ったとき、どうせ自分には出来ないと思っちゃだめ。まずは恐れずに皆んなに言ってみよう。なぜなら必ずあなたの夢を応援したいと思ってくれる人はいるから。そしてみんながもっと夢を叶えられるように身近なことでいいから寄付などをして誰かを応援しよう。

見返りが無いからやって損って思っちゃだめ。目に見えるものは無かったとしても相手が笑顔になって幸せになったらその幸せが来るから。支えよう、みんなの夢を。

**Q. 自分が寄付を集める側になるとしたら、何をゴールにお金を集めた
いですか？**

A. 自分の畑で育てた野菜を使って、親が遅くまで働きに出ている子どもたちに夕食をふるまいたいです。

Q. コンテストに参加した経験をどのように活かしたいですか？

A. 物事の先にある目的に考えを巡らせるようにしていきたいです。言葉自体は知っていた「寄付」ですが、誰のために、なぜするのかは考えたことがなく、動画をつくる過程で学ぶことができました。

全国大会ファイナリスト受賞作品



「モノの値段が変化する！“買うお店を意識”」

高橋 大希さん

埼玉県立越谷総合技術高等学校 高校2年



【審査員からのコメント】

本作品は、流通経路やコスト構造の違いによりコンビニとスーパーで商品の値段が異なることを図解で丁寧に説明しています。自身で考え調査しながら答えを導き出し、それを小学生に伝えるために工夫した「探究的な学び」が評価されました。

三菱みらい育成財団のミッション達成、探究的な学びに最も貢献すると評価された作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



大学生が高橋さんにインタビュー

第2回



担当メンター：西尾 茉莉杏

Q. コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

流通の経路などは学校の授業を通して学びました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 高校生になり、お昼ご飯を買ったり放課後に友達と外食をしたりと、さまざまなことでお金を使う機会が増え、そのときに初めて節約というものを意識しました。節約をすることによって賢いお金の使い方が身についたと思っています。小学生の時から「お金をもっと有効に活用してもらいたい」という想いでこの動画を作成しました。

Q. 「8つのお金の力」のうち、「使う」をテーマとして選んだ理由を教えてください。

A. 「使う」が自分にとって一番身近であると感じているからです。高校生になって行動範囲が広がり、自分で判断してお金を使う機会も増えました。

Q. 来年度も参加するとしたらどの力に着目したいですか？

A. 「増やす」に着目したいと思います。実は投資の勉強を少しずつ始めているので、それを活かせたらと思います。

Q. FESコンテストに参加した経験をどのように活かしたいですか？

A. 動画一つだけでも、さまざまな相手に対して、さまざまな内容の発信ができる可能性があることを学んだので、今後も発信を続けていきたいです。

Q. 未来の参加者へ一言！

A. チャレンジすることが大切！まずは挑戦してみよう

全国大会ファイナリスト受賞作品



「クレジットカードは魔法のカード??」

伊東 愛結 さん

愛知県立豊橋南高等学校 高校3年

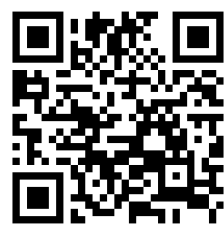


【審査員からのコメント】

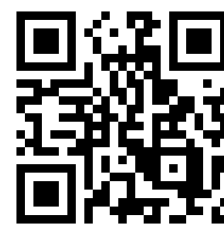
クレジットカードを「魔法のカード」と誤解している小学生に対し、代金が後払いであることをわかりやすく説明していました。子ども同士のお金の貸し借りは危険であることも盛り込まれており、健全なお金の使い方考えるきっかけを提供していました。ペープサート（棒についた紙人形）がかもし出す手作り感、1分間で多くの内容を扱っている点も評価されました。

最もお金の興味関心を引く内容であり、お金を学ぶきっかけを生み出す作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



大学生が伊東さんにインタビュー

第2回



担当メンター：佐々木 志穂子

Q.コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

今の小学生のお金との向き合い方は自分が小学生だった頃と比べて少し変化しているので、今の小学生の立場で考えることは難しいと感じました。まだ自分も持っていないクレジットカードですが、仕組みを改めて学ぶことにより、なんでもインターネットで決済できるようになったからこそ生じた落とし穴があると気づくことが出来ました（クレジットカードに対する認識など）。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 私は今、教員育成のコースを学んでいて、将来は教員になりたいと考えています。金融教育が義務化されたものの、現役高校生からみても義務化された前後での変化を感じられていません。そして、高校生として自分の金融知識の不足に強い危機感を感じているので、金融の知識不足によって損する人が少しでも少なくなると嬉しいです。

また、今の日本では金融格差があり、したいことが出来ない子供もたくさんいます。金融教育がもっと普及し、大切に感じてもらうことで、少しでも格差のある社会の中での武器を見つけて欲しいと感じました。

Q. 動画製作で大変だったことを教えてください。

A. イラストを手書きで作成することから始めたので、時間がかかりました。動画で説明している内容は出来るだけ分かりやすいよう簡略化しましたが、時間内に適切に伝えるにはアフレコでかみ砕いて説明する必要があり、大変でした。

Q.現在の金融教育をどう変えていく必要があると思いますか？

A.金融教育は現在の授業だけでは足りない、現状を改善するにはFESコンテストのような学習機会を増やすことが必要です。問題意識を持たせるきっかけを作ることが現状を変える起爆剤になります。危機感を持つことで能動的に学ぶのではないのでしょうか。将来、能動的に金融について学ぶ教育環境づくりを教員として担っていきたいと考えています。今度は自分が金融教育やリテラシーを高めるための学びの場を広げていく立場になりたいと思います。

全国大会ファイナリスト受賞作品



「もしも一人がこわいなら」 遠藤 最 さん

文教大学附属中学校 中学2年



【審査員からのコメント】

FESコンテスト史上初の、生成AIを活用した作品です。生成AIを使うと簡単に制作できると誤解されがちですが、実際には、統一感が出るようまとめるのに相当な手間がかかります。そのクリエイティビティが受賞の決め手となりました。

審査基準のうち、
CreativityとExecutionの観点から最も優れた作品に贈られます。

作品



プレゼン映像



大学生が遠藤さんにインタビュー

第2回



担当メンター：衣斐 奏瑠

Q.コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

A.公民の教科書で税金について学び、『投資家と考える10歳からのお金の話』という本から、社会の中でお金がどのように使われるかを学びました。

Q.この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 公民で税金について勉強し、税金を納めることで弱い人を助けられるということを知りました。最初は、国の予算が100兆円とか、お金持ちの人の資産が何千億円とかいうニュースを聞いて、一人くらい税金を払わなくてもいいのではないかと、税金はお金持ちだけからとったらよいのにと考えていました。

しかし今は、そうやって納めないことで困るのは弱い人たちだということや、お金持ちの人に払ってもらうためには私たち一人ひとりも税金を納めることが大切だと思っています。

Q.動画制作において、どのようなところを工夫しましたか。

A. AIで絵を生成しましたが、雰囲気似ている画像になるには、使った画像の何倍もの枚数を試して、プロンプトを工夫する必要がありました。画像にアニメーションをつけるのにも苦労しました。

Q.曲を作るときAIへの指示はどのように出しましたか？

A.歌詞は自分で作り、それをもとにAIに「しっとり系の曲調」での作曲を指示しました。今回は自分で歌詞を書きましたが、普段は歌詞と曲の両方を作ってもらっています。

イラストの生成をAIに指示するときは「場面に合わせて、水彩画で生成してください」など一貫性をもった指示を何回も出さなければなりません。

全国大会ファイナリスト受賞作品



「新紙幣の秘密」

加納 莉穂さん

渋谷教育学園渋谷中学高等学校 高校1年



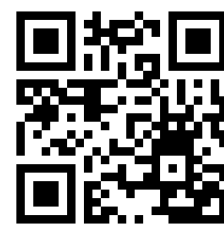
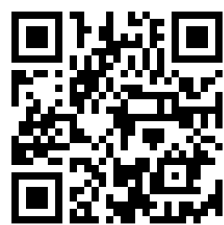
【審査員からのコメント】

本作品は2024年7月に発行された日本の新紙幣に施された最新の偽造防止技術を、工夫された映像で興味深く紹介しています。「なぜお金が価値を持つのか」という問いに「信用」と答えている部分は金融教育の素材として非常に優れています。

小学生の学習意欲と自主性を引き出した作品に送られます。

作品

プレゼン映像



大学生が加納さんにインタビュー

第2回



担当メンター：新田 一希

Q. コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

紙幣が信用を保つ仕組み、新紙幣に施されている技術等を国立印刷局のサイトなどを見て学びました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. 近年ではキャッシュレス決済が主流になってきていますが、小学生はやはり現金の方が身近な存在にあると思います。そのため、新紙幣に施された日本の最新技術を知った上でお金を使って欲しい、という想いを込めました。

Q. 題材として新紙幣を選んだきっかけはなんですか？

A. 紙幣の凄さをわかりやすく発信していくことで金融への心理的距離を減らしてほしかったからです。新紙幣については小学生向けの「新紙幣のよさを発信」するサイトがありましたが、内容が難しかったため、わかりやすい動画を作ることを意識しました。

Q. 今回の動画制作をする前から日本の紙幣製造技術について知っていたのですか？

A. 小学校低学年のとき「顕微鏡で紙幣を覗いてみる」という学習雑誌の付録があり、それで桜のところに小さく「日本」と書かれているのを見つけ、日本の紙幣製造技術の凄さを感じました。

Q. 動画制作において大変だったことは何ですか？

A. 紙幣が暗い場所で発光することを見せる点です。ブラックライトで発光するのですが、それがないため映像の編集で対応しました。また、紙幣の薄い凸凹を視覚化するのも大変でした。触れないとわからないため、効果音で対応しました。

Q. この動画制作後で、金融全体に対して興味などの変化はありましたか？

A. 金融について、人に伝えるまでまだまだ理解できていません。

投資や株について興味はあるので今後知識を深めていきたいと思います。

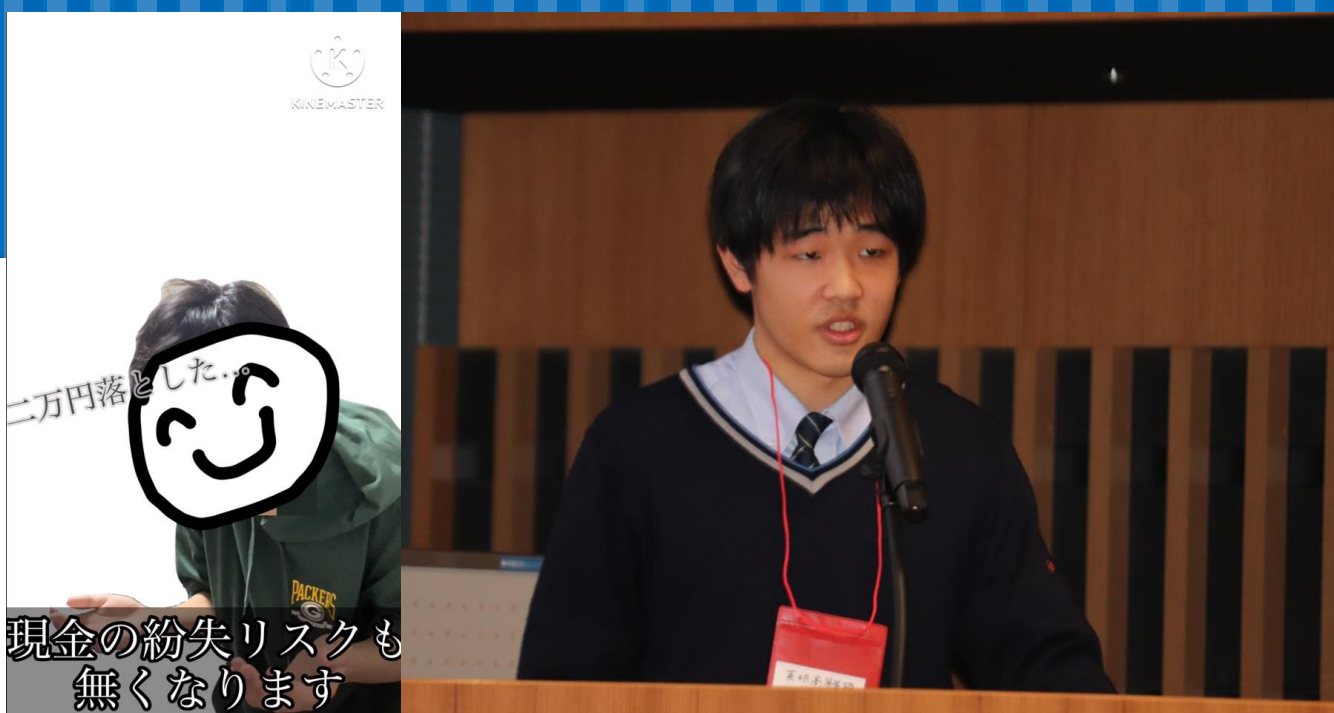
全国大会ファイナリスト受賞作品

奨励賞

「キャッシュレス決済ってなーに？」

中村 竜斗さん

英明高等学校 高校2年



【審査員からのコメント】

災害が多い日本においては停電や通信障害の際に現金が頼りになるという現実を明らかにしており、大人にとっても学びの深い内容です。視聴者に重要かつ実践的な知識を提供している点が評価されました。

小学生の学習意欲と自主性を
引き出した作品に送られます。

作品



プレゼン映像



大学生が中村さんにインタビュー

第2回



担当メンター：新田 一希

Q. コンテストに参加するにあたって、金融について何をどのように学びましたか？

A. インターネットのサイトからキャッシュレス決済のメリット、デメリットを学びました。

Q. この動画を通してあなたは何を伝えたいですか。あなたの「想い」を説明してください。

A. いつどんなところでも使うことができるキャッシュレス決済。このキャッシュレス決済の種類やメリット、デメリットなどを伝えたい！という気持ちからこの動画を作りました。キャッシュレス決済は便利なものですがその裏にはちょっとした穴（デメリット）があることやその穴に注意してほしいと伝える動画を作りました。

この動画を通して小学生の子どもたち、そして大人の人にもキャッシュレス決済のことについて知ってもらいたいと思っています。

Q. 動画を作るうえで「難しい」と感じたところを教えてください。

A. 著作権侵害をしないよう、全部自分で準備したことです。使っている画像や映像はほとんど自作したものや自分の持ち物です。自分の持ち物でも不安なものにはモザイクをかけました。フリーのBGMも使わなかったため、それをカバーする工夫はしたつもりです。また、自分の話している速度に合わせて字幕を付けることも難しく感じました。

Q. ハイテンションなキャラクターの着想はどこで得たのですか？

A. 「ただの高校生」が伝えたほうが、より身近に感じ共感を持ってもらえると思ったからそうしました。また、小学生向けの動画は、大人がハイテンションで話をしているものが多いので、そういうキャラクターのほうがより内容が伝わると考えました。

Q. ご自身はキャッシュレスを人に勧めたいと思いますか？

A. 進めたいとは思いますが、気を付けてほしい点もあるので、それを動画にしました。

全国大会ファイナリスト受賞作品

佳作

使う



課金のし過ぎは気を付けよう
東京都立南多摩中等教育学校 中学3年
田口 悠真 (団体応募)

稼ぐ



お金はだれのもの！？
千葉県立木更津高等学校 高校2年
弘中 彩 (個人応募)

納める



「消費税」と「税金」ってなあに？
明和県立高等学校 高校2年
藤井 音羽 (個人応募)

貯める



未来のために
成城学園中学校高等学校 中学2年・3年
本間 孝男 (団体応募)

備える



あり子となし子の保険講座
グローアップアカデミー 高校3年
甲斐 愛蘭 (団体応募)

贈る



危険なお金の貯め方
大阪府立長野高等学校 高校2年
竹田 陽響 (個人応募)

借りる



くまさんの初めての「ゆうし」
大手前高松中学・高等学校 中学3年
吉嶋 一葉 (個人応募)

増やす

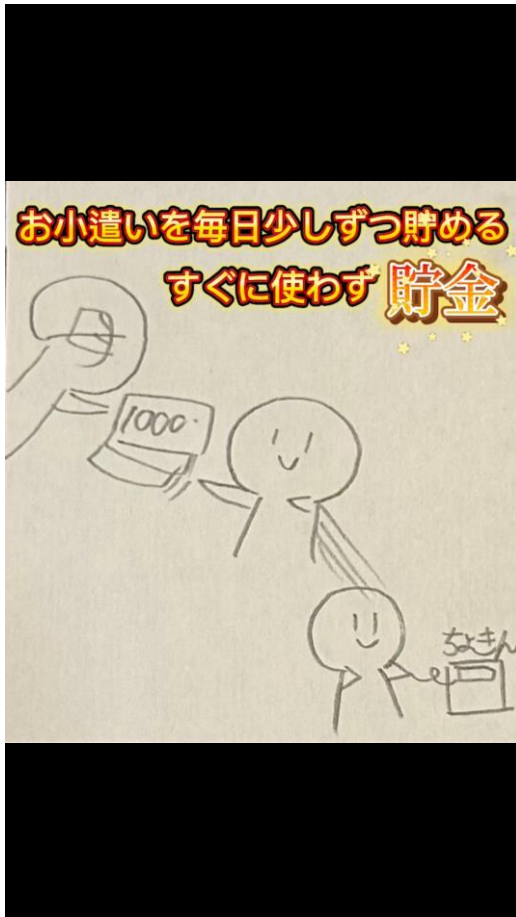


NISAってなんだろう？
大手前高松中学・高等学校 中学2年
森本 陽仁 (個人応募)

全国大会ファイナリスト受賞作品

Challenge部門「ひふみ賞」

Supported by  RHEOS CAPITAL WORKS

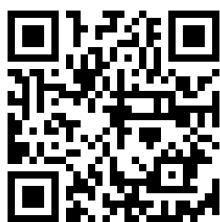


自分へのご褒美

広島国際学院高等学校 高校3年

福留 櫻子 (個人応募)

作品



「稼ぐ」のは
大人だけじゃない!?

in フィリピン

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

高校2年

草場 美海 (団体応募)

作品



全国大会ファイナリスト受賞作品

Challenge部門「ひふみ賞」

Supported by  RHEOS CAPITAL WORKS



お金って実は危ない？

高崎市立並榎中学校 中学3年

深野 愛花（個人応募）

【審査員からのコメント】

「ひふみ賞」の受賞3作品は、それぞれ「お金とは」というテーマに中高生の視点で学びをアウトプットしていただけた素晴らしい作品でした。3作品とも、お金の本質と、お金に対する向き合い方を考える重要性を説く教材として、小学生だけでなく大人にも見てもらいたい作品である点が評価されての受賞となりました。

※ひふみ賞受賞3作品を代表し、高崎市立並榎中学校の深野愛花さんが表彰式プレゼンを行いました。

テーマ「お金とは？」に対して
応える作品を制作した方へ贈られます。

作品



プレゼン映像



全国大会ファイナリスト受賞作品

Challenge部門「ジョブドラフト賞」

夢は、18才から始まる。
Supported by **ジンジブ**



上司ガチャ

東京都立東久留米総合高等学校定時制課程 高校3年

山田 崇志（団体応募）

【審査員からのコメント】

本作品は小学生の興味を引く「ガチャ」を題材に、理不尽な上司、無責任な上司、そして理想的な上司という3種類のキャラクターを通じて、職場におけるコミュニケーションやリーダーシップの重要性を伝えています。小学生が本作品を見て「働くこと」は人と人との関わりや信頼の上に成り立つのだと気づき、将来の自分の姿を想像してくれることを期待できる点が評価されました。

テーマ「働く＝稼ぐ！？働かってなんだろう？」に対して
応える作品を制作した方へ贈られます。

作品

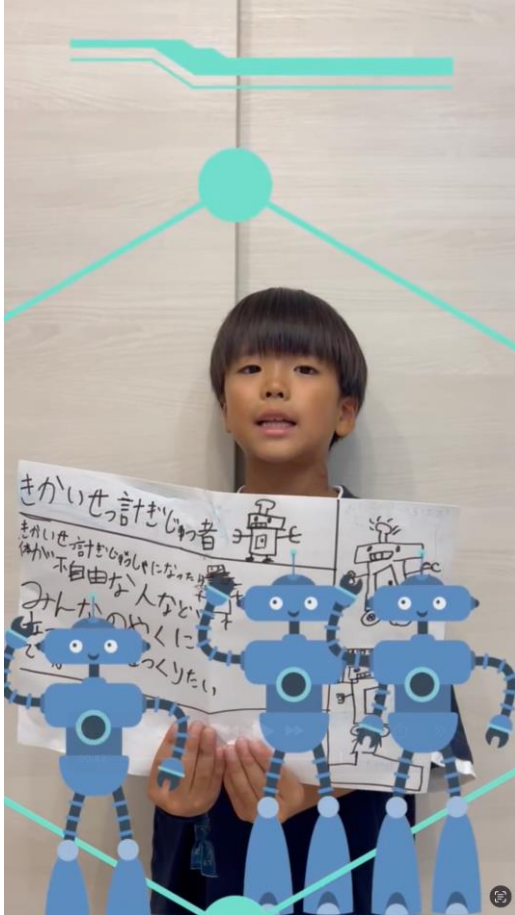


プレゼン映像



全国大会ファイナリスト受賞作品

Challenge部門「FESキッズ賞」

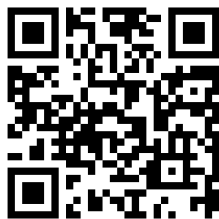


僕のお金の稼ぎ方

流山市立おおぐろの森小学校 小学3年

池永 陽臣 (個人応募)

作品



1円っていくら？

江戸川区立鹿本小学校 小学5年

苗加 篤尚 (個人応募)

作品



ワークショップに参加し制作した動画の中から、
優秀な作品を制作した小学生へ贈られます。

おかげさまで、本年度のFESコンテストも、多くの方々のご協力とご支援により、盛況のうちに終了いたしましたことを心より感謝申し上げます。

また、昨年よりもさらに充実した内容となり、多様な取り組みを通じて多くの成果を得られましたことも合わせてご報告いたします。

今年度は初めて地区大会を香川県と千葉県で開催しました。

地域色を活かした運営により、これまで以上に多くの中高生に参加の機会提供が実現したことで、地域ごとの特色を反映した発表や交流が生まれ、金融教育の一層の普及に寄与できたと実感しております。

さらに、学校での出前授業や地域ワークショップを積極的に実施した結果、多くの新しい参加者を迎えることができました。

これらの活動を通して金融教育の重要性を身近に感じていただき、若い世代へのアプローチとして大きな成果を上げることができました。

本年度は運営側の大学生に対する金融教育にも力を入れておまして、特に、FP（ファイナンシャル・プランニング技能士）3級の取得を目指した支援活動を行い、その結果、数名の有資格者が誕生しました。

この取り組みは大学生のキャリア形成を支援するとともに、金融リテラシー向上にもつながる意義深い活動となっております。

また、今年度は新たに表彰式でオーディエンス審査を導入いたしました。

観客の皆様に参加いただくことで、作品と発表者への多角的な評価が可能となり、より広い視点からのフィードバックを得られました。

この試みは会場全体の一体感を高め、参加者にとっても貴重な経験となったと確信しております。

最終審査では、審査員の皆様が中高生一人ひとりの作品に真摯に向き合い、熱心に議論を重ねてくださる姿が印象的でした。

この光景を目の当たりにし、本コンテストの意義を改めて実感いたしました。

FESコンテストは単なるイベントの枠を超え、金融教育の普及と若い世代の成長を支える場として進化を続けております。

そしてこのコンテストが、中高生の皆さんに金融教育への興味を喚起するきっかけとなり、またご家族や地域社会にも金融について考え、学ぶ契機を提供できることを願っております。

FESコンテストの普及のために、今後は地区大会開催エリアの拡大により地域における金融の学びを定着させること、公立学校からエントリーしやすい環境をつくり上げることに注力いたします。

さらに、金融教育の入り口としてFESコンテストと出会った中高生が学習の指標にできる「金融検定」制度を創設し、コンテストだけで終わらない、学びの継続を促す方策も立てていく予定です。

最後になりましたが、FESコンテストの意義にご理解とご支援を賜りました企業・団体の皆様ならびに開催を支えてくださったすべての方に、心より御礼申し上げます。

2025年1月

一般社団法人日本金融教育支援機構 一同

運営協力者

認定講師

大竹 明彦
秋葉 裕幸
渡邊 雅子
徳永 智穂
竹本 浩
日暮 健司
永田 真仁
吉田 和久
大竹 英斗
長谷川 正次
鎌倉 一江

大場 実
野田 拓也
細田 佳代
藤原 沙也加
皆越 慎吾
伊藤 由美子
永嶋 猛
佐藤 早希子
市川 亮
中園 和博
小林 正幸

仲岡 由麗江
八木満里子
川上 真由美
清水 秋美
苗加 晃平
厚井 智美
高田 彩香
佐伯 綾子
広川 明雄
濱田 慧

高野具子
片原 隼
隆杉 美和子
大北 明理
高田 頌子
北村 武史
大谷 明
朽網 哲朗
細川 善弘
三枝 浩紀

サポーター会員

鈴木 由香子
小林 且昌
水野 一男
浮田 弥生
草場 和枝

前田 貴史
朝野 英明
前島 祐一
今村 公信

川戸 英郎
坂口 永一
近藤 和久
鬼丸 正彦

岡田 昌也
佐藤 佳美
夏野 拓也
喜多尾 満

法人会員

FPサテライト株式会社
株式会社FPコンサルティング
株式会社ABCash Technologies

特定非営利活動法人キッズフリマ
一般社団法人観光クロスオーバー協会

教員アンバサダー

伊藤 航大
金子 宏
指宿 和也
松下 隼司
村川 友理
中村 亮介
梅林 知輝

井波 佑二
後野 夢咲志
酒井 芳朗
水山 哲之介
村木 龍太郎
田中 駿一
米田 謙三

横山 淳平
合田 意
小林 萌子
水野 雄人
大原 雄介
日山 貴浩
鈴木 健祐

岸名 祐治
根本 太一郎
松永 悟郎
青山 典義
竹達 健顕
日野田 昌士
和田 栄治

大学生サポーター講師

西尾 茉莉杏
中島 晶穂

藤井 美羽
五十嵐 龍翔

甲斐原 紗弓
藤田 美優

筒井 璃紗子

大学生実行委員会

伊藤 百花
横井 美利
吉永 美咲
郷右近 侑寿
近藤 遙香
甲斐原 紗弓
佐々木 智成
山下 晏司
小具 美結
松本 姫凜
森口 里美
西岡 泰我
川島 菜沙
大川 一成
中間 莉心
辻 大樹
渡邊 英資
藤田 美優
樋野 能久
伏見 紗葉
柳田 真理彩
澤野 鉄平

衣斐 奏瑠
加瀬 陽太
吉村 翔太
玉田 真琴
栗原 茉子
高橋 咲彩
佐久川 紗彩
狩野 菜々美
小串 香乃
上野 凌
森竹 らら
西尾 茉莉杏
前田 優菜
大島 葵衣
中島 晶穂
田所 翠
都築 菜々美
藤本 壮太
富田 ゆうあ
平田 もね
廣瀬 ゆら
與島 豪

井上 杏珠
角南 有紀
久米 里佳
近藤 咲歩
原田 紗
高橋 颯太
佐藤 友美
秋間 安美香
小山 珠有
新田 一希
杉山 美唯
赤川 萌
相澤 真希
端田 綺佳
中島 百春
田中 優磨
筒井 璃紗子
八尋 琴美
富澤 美咲
北島 由菜
澤野 鉄平
齊藤 伊織

遠藤 彩華
岩崎 桃衣
弓田 彩香
近藤 穂
五十嵐 龍翔
佐々木 志穂子
三木 綾華
勝又 茉理
小松 真子
森 さくら
菅谷 莉央
川上 彩奈
増井 梨々花
竹山 海翔
塚越 光凱
田中 凜平
藤井 美羽
樋口 由惟
武田 真希
牧田 未来
廣瀬 ゆら

第2回FESコンテスト 実施報告書2024

【制作メンバー】

五十嵐 龍翔
小串 香乃
西尾 茉莉杏
郷右近 侑寿
中島 晶穂
新田 一希

【制作協力メンバー】

藤本 壮太
筒井 璃紗子
栗原 茉子

協賛・協力・後援

協賛（シルバー）



協賛（ブロンズ）



協力



後援



FESコンテスト千葉県地区大会

協賛： Mikazuki
JAPANESE RESORTS & SPA

後援：千葉県 千葉県教育委員会

千葉県木更津市ワークショップ

後援：木更津市教育委員会

千葉県流山市ワークショップ

後援：流山市教育委員会

東京都武蔵野市ワークショップ

協賛： Hiro Clinic 多摩信用金庫 武蔵 武蔵野 武蔵野

三鷹ヒロクリニック

後援：武蔵野市 武蔵野市教育委員会

兵庫県養父市ワークショップ

協力：養父市 養父市教育委員会

FESコンテスト香川県地区大会

協賛： 百十四銀行 香川証券

後援：香川県 香川県教育委員会

香川県ワークショップ

後援：高松市教育委員会 琴平町教育委員会

群馬県ワークショップ

協賛： 株式会社
トータルライフサポート SOMPO
ひまわり生命

アイオー信用金庫 山田税理士事務所

協力：PCアルターナ

後援：群馬県 群馬県教育委員会
前橋市教育委員会

広島県ワークショップ

後援：広島県教育委員会

助成事業採択

三菱みらい育成財団

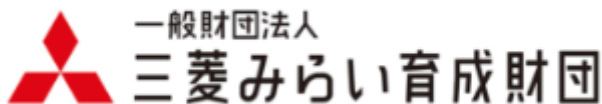
- ◆ 助成事業への採択（2023年度）
- ◆ カテゴリー2 グランプリ受賞（2024年度）

「未来を担う若者の育成を目指す教育機関等への助成と、その成果を広く社会に波及させるための事業」を行う一般財団法人三菱みらい育成財団から、当機構の「FESコンテストによるワークショッププログラム」がカテゴリー2「教育事業者等が行うより先進的、特徴的、効果的な『心のエンジンを駆動させるプログラム』」の2023年度助成事業に採択されました。

さらに2024年9月には「2023年度に採択したプログラムの中から特に優れた活動・成果を上げた団体」として、カテゴリー2のグランプリを受賞いたしました。なお、グランプリ受賞により、同プログラムは2024年度の助成事業として継続採択となっております。

	プログラム	助成対象者	プログラム参加者
カテゴリー1	高等学校等が学校現場で実施する「心のエンジンを駆動させるプログラム」	高等学校等	高校生等(15~18歳)
カテゴリー2	教育事業者等が行う、より先進的、特徴的、効果的な「心のエンジンを駆動させるプログラム」	NPO・株式会社他 教育事業者、大学等	高校生等(15~18歳)
カテゴリー3	卓越した能力を持つ人材を、早期に発掘・育成する教育プログラム「先端・異能発掘・育成プログラム」	大学、研究機関、NPO・株式会社他 教育事業者等	高校生等(15~18歳) ^{※1}
カテゴリー4	大学・NPO等で行う、「21世紀型 教養教育プログラム」	大学、NPO・株式会社他 教育事業者等	大学1・2年生相当(18~20歳) ^{※2}
カテゴリー5	「主体的・協働的な学習(心のエンジンを駆動させる学習)を実践できる教員養成・指導者育成プログラム」	大学、研修機関、NPO・株式会社他 教育事業者等	高校教員・指導者

※1 カテゴリー3のアントレプレナーシッププログラムの参加者は、高校生に加え、大学1・2年生も対象とします。
※2 カテゴリー4は、大学1・2年生対象のプログラムに加え、3・4年生を対象とした、専門教育と並行して実施する、学同領域横断の教養教育プログラムも対象とします(2024年度から追加)。



引用：三菱みらい育成財団アニュアルレポート2024

編集後記

五十嵐 龍翔 | 石巻専修大学 1年 | 宮城県



私は、大学進学を機に「何か新しいことにチャレンジしたいな」と思い調べていく中で、FESコンテスト大学生実行委員の募集を見つけました。それから半年間、ワークショップの運営や表彰式の投影資料・エンディングムービーの制作などを担当し、非常に充実した時間を過ごすことができました。

私は正直、FESコンテストと出会うまであまり「お金」について学習してきませんでした。しかし今となっては、機構の大学生サポーター講師として登録し、FPの勉強をしている真最中です。当初はここまで金融について熱中できると思いませんでした。中高生の皆さんも、FESコンテストへの参加を通して金融についての学習の第一歩を進んでくれたら、実行委員として非常に嬉しく思います。

中島 晶穂 | 立教大学 2年 | 埼玉県

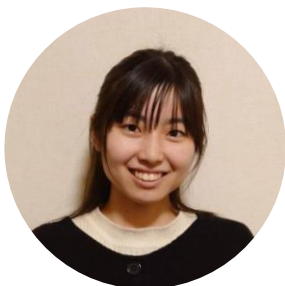
「人生の選択肢を増やす金融教育を」。機構が掲げる素敵で大きなビジョンに少しでも貢献したい。そんな想いで今日まで活動してまいりました。

今年度は、活動を充実させるためのクラウドファンディングにも取り組みました。支援者にどのように金融教育への想いを伝えるかを考えるうちに、金融教育の必要性を再認識すると同時に、大学生の私たちだからこそできる活動のかたちも見えてきました。

私は大学では金融や経済とは無縁な学問を専攻していますが、機構での活動を通して「金融」に対する興味関心が生まれ、知識習得に向けて動き始めています。



西尾 茉莉杏 | 早稲田大学 3年 | 東京都



大学生実行委員会の活動を通して、私自身も「お金」に関する学びを深めることができました。

「中高生に課外という選択肢を提供したい」という気持ちから活動を始めた私は、当初お金に関する知識が全くない状態でした。

しかし、FP資格試験への挑戦や、認定講師との交流を通じて自然と知識が身についていきました。

小中高生だけでなく、運営する大学生もこのような学びを得られるFESコンテストが、これからますます普及するよう願っています。

郷右近 侑寿 | 法政大学 1年 | 神奈川県

私が実行委員になった理由は、自分自身が第1回FESコンテストに参加して学ぶところが多かったことです。そしてその経験から、子どもたちが新しいことに挑戦して将来の可能性を広げられるよう、FESコンテストで手助けしたいと思ったからです。

全国の小学生の金融教育の充実を目指すと同時に、中高生にとって新たな発見につながるような体験を提供していきたいです。



編集後記



小串 香乃 | 法政大学 1年 | 東京都

金融に関心があり、何かを運営することにも興味があったため「楽しそう」という気持ちで当機構の活動に参加しましたが、思った以上にさまざまな体験と、同年代とは思えないほど経験豊富な大学生の仲間との交流をすることができました。

FESコンテストは私の可能性を広げてくれたと思っています。参加してくださった生徒の皆さんの可能性を広げるきっかけにもなっていることを願っております。

新田 一希 | 広島経済大学 3年 | 広島県

私は機構の認定講師の方から紹介されて、今年の7月から大学生運営実行委員として。ワークショップの運営などに携わりました。最初は、加入により資格取得のための勉強ができればよいな、と思っていました。

しかし、広島のワークショップに参加したときに、自分なりのアイデアを一生懸命アウトプットしようとしている中高生の姿を見て考えが変わりました。彼らが理解しやすい説明や、金融教育をより魅力的に感じる伝え方に力を入れたいと思うようになりました。

これまで「誰かのために」行動したことは少なかったのですが、今は自分自身の成長が自分より年下の生徒たちの成長に役立つ場を見つけたので、それをモチベーションとして成長していきたいと考えています。



藤本 壮太 | 甲南大学 2年 | 兵庫県



私がFESコンテストに関わることになった元々のきっかけは「新NISAも始まったし、何かええ儲け話でも聞けへんかな」という安直なものでした。

しかし、さまざまなイベントに携わっていくうちに、そこで出会った中高生や大人の方々の、金融教育に対する真っ直ぐな熱意やキラキラとした表情に魅了されていきました。そして、いつの間に私の活動目的は「FESコンテストに青春を捧げる中高生の後押しをしたい」というものになっていました。

また、機構は全国規模の組織であるため、活動を通して地方・大学を超えた広い人脈ができてよかったと思います。今後は自分の拠点である関西にFESコンテストを広めていきたいと考えています。

組織概要

一般社団法人日本金融教育支援機構

【所在地】

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-11-7-B106

【連絡先】

TEL 03-6674-1435
E-mail info@faincation.com

【設立日】

2022年12月28日

【理事・監事】

代表理事 平井 梨沙
理事 阿部 奈々
理事 仲木 威雄
監事 眞鍋 康正

【ホームページ】

<https://faincation.com/>

第2回 FESコンテスト 実施報告書 2024

2025年1月

一般社団法人日本金融教育支援機構

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-11-7-B106
TEL 03-6674-1435
URL info@faincation.com



一般社団法人
日本金融教育支援機構
Japan Financial Education Support Organization